



古城会総会

古城会総会報告

令和元年十月二十六日、みの観光ホテルにて令和元年度古城会総会および懇親会が開催されました。各支部役員の方を含め、約七十名程の同窓生の方々が出席されました。

総会では、平成三十年度会務報告、決算報告と令和元年度会務計画、会計予算案が提案され承認されました。総会後は前同窓会会頭の川嶋智孝氏(高9回)の講演会を行いました。

懇親会では、楽しい雰囲気のもとで会員の交流を深めることができました。最後に恒例の武義高校歌を全員で合唱し終了しました。参加されました同窓生の皆様ありがとうございました。

次回は、十月十七日(土)の創立記念式典後に祝賀会も兼ねて開催する予定です。多くの同窓生の方の参加をお願いいたします。

長良川鉄道梅山駅の清掃はもちろん、今や日本に誇るビッグイベントとなりました美濃和紙あかりアート展での会場でのスタッフとしてのボランティア活動。プロの選手による自転車ロードレースの国際大会「ツアー・オブ・ジャパン」美濃ステーションでのポスターデザインや開会式でのプラスチックの協力。年末には門松を製作し、美濃にわか茶屋で販売。その売り上げを共同募金に寄付するなど一年を通じて地域活動に参加してくれています。地元根付く卒業生として、誇りに思えるほど地域で頑張ってくれます。

そして本年は一〇〇周年。本年十月十七日には一〇〇周年記念式典、その後古城会総会を予定しております。記念行事としては校門の改修、梅華塾の改修、そして学校備品の充実を予定しております。

校門につきましては色々な案が出される中、これから入ってくる武義高生が入ってよかったと思えるような、次世代を担う武義高生のためにという事で、新しい校舎に合うような校門に改修させていただきます。

同窓会総会講演

旧制中学から新制高校へ

川嶋 智孝 (高9回)

八〇周年時は副会頭、九〇周年時は会頭職だったということで、その経験などを同窓会総会で少しお話をさせていただきました。

旧美濃町は上有知といつて当時政治・経済の中心地であり文化の面でも高く、頼山陽や禅智和尚を師とした庄屋、村瀬藤城が私塾梅花村舎を開塾し、子弟の教育を進めました。そのような背景から、隣町関との誘致合戦もありましたが、皆さんの骨折りで現在の地に開校できました。大正九年四月、受験者数百八十二名、合格者数百名の狭き門でした。勿論男子生徒ばかりです。その後教育改革で新制高校となり男女共学となって武義高女、今の関高などから女子生徒が転校してきました。その後、津保谷に分校ができ、中濃高校となり今の関有知高校に発展しました。中濃を表す武義ではなく「武士道」の武、正義の義を取って武義の名をつけた武義高、校歌は佐佐木信綱先生、作曲は「ふるさと」で有名な岡野貞一先生です。

又多くの有名人も輩出しています。渡辺栄一氏(元衆議院議

また同窓会館として創立七十周年の時に建設された梅華塾も老朽化が目立ってきましたのでその改修を行い在校生に活用してもらいたいと考えております。そして予算が許せば在校生のための学校の備品を購入して、学生生活がますます充実したものであるよう同窓会として応援していきたくと考えております。

そのような中、同窓生の皆様には恐縮ですが、母校武義高校のため寄付をお願いする次第であります。皆様の浄財が今後入学してくるであろう武義高生、一〇〇周年、一二〇周年と続く伝統を守ってくれる生徒たちに役に立ちます。

なにとぞご協力をお願いいたします。

同窓会支部だより

東京古城会の近況について

東京古城会会長 野倉 (高22回)

令和元年六月より東京古城会会長を仰せつかりました野倉と申します。昭和四十五年卒業の高校二十二回生です。よろしくお願ひ致します。私達が卒業し

員・大臣・中川、森 基要氏(講道館柔道八段、岐阜工専名誉教授 中21)、濱尾文明氏(元バチイカン枢機卿 中23)、美濃市長として澤村章(中10)・西部晃彦(中24)・石川道政(高11)・現市長の武藤鉄弘(高23)の各氏、美濃加茂市長として先の渡辺栄一氏・川合良樹氏(併中一)又、県議会議員としては現職の佐藤武彦氏ほか元職は船戸行雄・山田忠雄・小川豊各氏ほか多くの方々でご活躍でした。

企業界では中ドラゴンズ社長佐藤毅氏(高2)、筑波大副学長だった平林民雄氏、落語家入船亭扇治さん、俳優武藤英司さん、手羽先世界の山ちゃんこと山本重雄氏などです。私が存じ上げています方々だけでも枚挙にいとまがありません。このような歴史と伝統のある母校「武義高」の百周年記念式典が今年十月十七日と決定。ぜひ多くの同窓生の方々にご参加いただき、盛大に開催されることを期待いたします。

た当時に新築された校舎や体育館は既に取り壊され、装いも新たな校舎や体育館など見違えるような武義高校になり驚いております。青春時代を思い出し、時の流れに感慨深いものがあります。

現在の東京古城会会員は、約二百五十名です。十数年前は約六百五十名の登録がありました。が、時代の経過と同時に会員の高齢化が進むとともに、上京する武義高卒業生の減少により会員の減少も続いており、これも致しかたのないことと思っております。

東京古城会は、毎年六月上旬の土曜日に総会を開いており、東京近郊にお住まいの武義中学・高校卒業の方々が集い、学生時代の思い出話を語り、学生名前後です。以前と比べ半程度と少なくなっておりますが、参加された皆さんは楽しく過ごされております。

さて今年には武義高創立一〇〇周年を迎えます。旧制中学から一世紀の間、数多くの卒業生が幾多の歴史を築き上げて来たことは、誠に誇らしいことであります。東京古城会も毎年の総会などで、卒業生による自身の経験談などを講演いただいております。武義高創立一〇〇周年記念を盛大にお祝いしたいと思います。さて昨年はラグビーワールドカップが日本で開催され、日本人のラグビー熱が急速に盛り上がりました。そして今年にはオリ

組織の拡大と活性化について

名古屋古城会会長 山口啓三 (高13回)

名古屋古城会では、現在会員は一七〇人余をもつて組織していますが、当会の歴史は武義高の歴史と共に古く、昭和初期に設立されたと伝え聞いており、手元にある昭和四十九年の会員名簿をみると、昭和の時代には活発な活動が行われていたことが覗われます。

しかし、諸般の事情により、昭和末期から約二十年間休眠状態に陥りました。これを十二年前の平成二十年に、中島前会長のご尽力により再建を果たし、以後隔年ではあります。総会(懇親会)を毎回七十〜八十名の出席者で開催してきました。

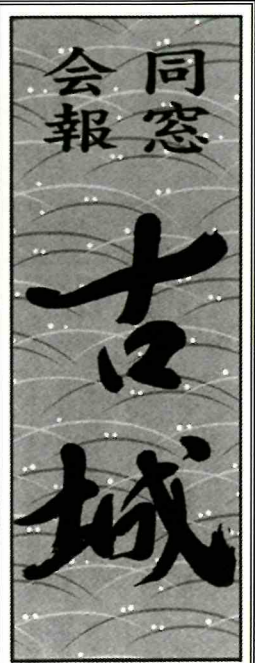
百周年を迎える本校の更なる発展のために、同窓生の皆様にはこれからも一層のご理解ご支援をお願いいたします。

また、吹奏楽部の演奏、ミニ門松の販売やワークショップなどのボランティア活動、商業科の商品販売など、多くの生徒が地域に Outreach、地域から学ぶとともに地域に貢献しています。職員も一丸となって、地域に愛され必要とされる学校であり続けるよう熱心に取り組んでいます。

今年度の東京古城会総会は、六月十三日(土)に四谷の主婦会館で開催いたします。多くの方々の参加をお待ちしております。



東京古城会総会にて



第32号
発行者 武義高等学校 同窓会
題字 藤田多美 (高21回)

【伝統訓】
梅は霜雪をうます
清香を経ておくせず
発すたくましく



武義中学・武義高校
一〇〇周年にむけて

同窓会会頭 土本 恭正 (高28回)

日頃は岐阜県立武義高等学校並びに同窓会でもあります古城会に際しまして、多大なるご協力とご理解をたまわり、誠にありがとうございます。

本年は、大正九年に武義中学ができて一〇〇年の大きな節目を迎えます。その間卒業生は約二、三、〇〇〇名以上にのぼり全国にて活躍されております。在校生についても、本校の伝統でもある文武両道「うますおくせず たくましく」の校訓通り勉学にいそしみスポーツにも頑張ってくれています。

また地域の活動に対して、ボランティア活動も積極的に取り組んでいくれます。利用する

また同窓会館として創立七十周年の時に建設された梅華塾も老朽化が目立ってきましたのでその改修を行い在校生に活用してもらいたいと考えております。そして予算が許せば在校生のための学校の備品を購入して、学生生活がますます充実したものであるよう同窓会として応援していきたくと考えております。

そのような中、同窓生の皆様には恐縮ですが、母校武義高校のため寄付をお願いする次第であります。皆様の浄財が今後入学してくるであろう武義高生、一〇〇周年、一二〇周年と続く伝統を守ってくれる生徒たちに役に立ちます。

なにとぞご協力をお願いいたします。



校舎全景

同窓会の皆様におかれましては、日頃より武義高等学校の教育活動に対し深いご理解とご温情を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年十月に開催されました古城会総会では、土本恭正会頭の下、川嶋智孝顧問様、東京古城会野倉学会長様そしてご来賓の美濃市長武藤鉄弘様、岐阜県議会議員佐藤武彦様はじめ総勢七十名の同窓生の方々にご出席いただき盛会のうちに終えることができました。校長としてまた同窓生の一人として厚く御礼申し上げます。

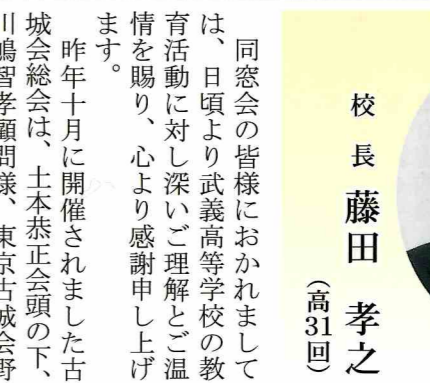
今回の総会では、創立百周年記念式典を今年十月十七日(土)に開催し、それに向けた記念事業実行委員会の計画案や予算案などについてご承認いただきました。また、川嶋智孝様には「武義中・武義高等学校の歴史と伝統その偉大さ」という百周年を迎えるにふさわしいテーマで講演をしていただきました。

今後は「校門や梅華塾の改修・校内整備」などの記念事業に向けて、同窓生の皆様から募金等でお力添えをいただきますようお願い申し上げます。また、創立百周年記念式典には是非ともお越しいただき、お洒落な校舎や生徒の様子を見ていただければと願っています。

さて、生徒は文武両道を目指して学業と部活動に一生懸命頑張っています。今年三月の卒業予定者は百九十五名ですが、進学希望の生徒の多くはすでに進学先を決めており、就職希望者も全員が地元企業を中心に内定をいただいております。部活動では、陸上部や投げで朝田康聖君、水泳部二〇〇m平泳ぎで山内大樹君、テニス部女子ダブルスで藤村香文さん、商業部ではワープロ部が東海大会に出場し、朝田君は東海地区陸上新人大会で八位に入賞するなど、どの部活動も熱心に活動しています。

また、吹奏楽部の演奏、ミニ門松の販売やワークショップなどのボランティア活動、商業科の商品販売など、多くの生徒が地域に Outreach、地域から学ぶとともに地域に貢献しています。職員も一丸となって、地域に愛され必要とされる学校であり続けるよう熱心に取り組んでいます。

百周年を迎える本校の更なる発展のために、同窓生の皆様にはこれからも一層のご理解ご支援をお願いいたします。



母校の発展のために

校長 藤田 孝之 (高31回)

けれども社会の少子高齢化の波は、当古城会も直撃を受け、会員数の減少傾向に歯止めがからず、一昨年の総会の出席者数は四十七人と初めて五十人を切ってしまったのです。これは会長の不徳の致すところと深く反省していますが、役員一同も危機感を持って対応策を検討してきました。その結果、昨年六月の役員会で①各学年で同級会の活性化(結集)を図る。②各学年別の愛知県内在住者の実態を把握する。との方針を採りました。

そこで本校古城会事務局のご協力のもと、一昨年刷新された同窓会名簿より、第十回生(昭和三十三年卒)から三十五回生(昭和五十八年卒)までの卒業回生別の愛知県内在住者を抽出していただきました。その結果十回生(二十回生までは三十五回生)の在住者が判明しました。二十一人の在住者が判明しましたが、二十一回生以降は二十人台にとどまり、しかも三十回生以降は十人台に減少している実態が判明しました。

この実態を踏まえて、各学年幹事に対し学年毎の名簿を配付(同窓会活動以外の活用禁止)して、学年毎に結集を図るよう協力要請をしてみました。但し三十回生までの八十三人については、学年幹事も指定していないので、今後、会長をはじめ四役を中心に個別にアタックしていくことと致しました。

南部古城会の近況

南部古城会会長 藤井 正義 (高8回)

南部古城会の地域構成は美濃加茂市「旧太田、古井、加茂野、蜂屋、山之上、伊深、三和、下米田」と加茂郡「坂祝町、富加町、川辺町、七宗町(上麻生、神淵、八百津町(旧八百津、和知、久田見、福地、潮南)、白川町(旧白川、黒川、切井、佐見、坂ノ東三川)、東白川村の地域に在住する会員を対象に活動していましたが、高齢化で会員数の減少で十分な活動ができていません。そこで、歴史ある南部古城会の活性化を図るためには定期的な会員との連絡を強化し、再構築を図らなければならないと考えています。

しかし、現在小生「岐阜県老人クラブ副会長」、「岐阜県加茂防衛協会会長」、「老人クラブ中濃ブロック会長」、「美濃加茂市健康連合会会長」等々の要職にあり十分な活動ができていません。最近の世相は、「今だけ」「金だけ」「自分だけ」の「三だけ」からか?各種組織の衰退が懸念されるなか、南部古城会でも会員の高齢化による会員数の減少で、組織そのものの維持が困難な状況にあります。今後は、組織維持のため情報

創立一〇〇周年 記念事業に向けて

総務委員長 加納 和喜 (高19回)

「ポジティブ」、「アクティブ」、「アトラクティブ」をスローガンに、生き生き伸び伸び活気ある学校づくりを目指す武義高校は、今年、創立一〇〇周年を迎えます。

大正九年に岐阜県下五番目の武義中学として誕生し、二万三千人の人材を育て、全国へ向け発信するとともに、地域と深く関わりを持ち、地域の社会経済の発展にも寄与し続けてきた学校でもあります。

に、そして、人生百年時代・グローバル時代にふさわしい多国籍に活躍できる人材育成、地域社会の未来を切り拓く担い手育成のために、武義高校の教育環境整備を助長する決意を新たにしています。

更には、地域社会とのつながりを大切にしたい教育の展開によって、生徒たちが思考力、判断力、そして表現力を豊かにして、夢や希望を膨らませることができ、地域に誇れる、地域に愛される武義高校を私たちは応援していきたいと思っています。

記念誌委員長 松田 浅子 (高19回)

武義中学は、地元の強い要望と熱意の中、県下五番目の中学校として産声をあげました。創立百年を迎えるに当たり、私ども記念誌委員会は、まず百年の足跡を確かな記録として残し、次世代に継承したいと思っています。同時に、伝統ある母校の存在意義を改めて確認し、未来に向けての第一歩を踏み出す契機にしたいと願っています。(発刊は十月の予定です)

現在、武義高勤務の卒業生の先生方十一名のもと、資料収集や整理を進めています。写真や図表、イラスト等を活用し、わかりやすいよう編集し、学校の魅力や将来像をお伝えできればと思っています。令和の時代にふさわしい母校の発展を心から願っています。

校門整備について

記念事業委員長 大石 貴夫 (高29回)

創立一〇〇周年記念事業委員会では事業目的として、①誇りある伝統校としてのシンボルとなる事業 ②生徒に有益な事業 ③母校の発展に寄与する事業 ④市民にアピールできる事業 ⑤卒業生の理解を得られる事業の5点を事業目的として委員会を重ね、卒業生の要望の多かった校門付近の整備をメイン事業として実施することになりました。

OBの設計士に依頼したデザイン案は、理事会において二案に絞られ、二〇〇九年完成の現校舎にマッチした先進的なデザインと、旧制武義中の煉瓦造の校門をモチーフとした重厚なデザイン

ザインとで理事の意見が二分し結論に至りませんでした。そこで在校生のみなさんの意見を尊重することとし、生徒の皆さんの検討の結果、未来に向けてさらなる母校の飛躍を感じさせるようなデザインに決定しました。



現在の校門の様子

また、併せて新たな校名標示サインの設置も実施します。今秋には一〇〇年の歴史と伝統の上に、新たな飛躍に向け発展する武義高校にふさわしい校門付近にリニューアルする予定です。どうぞご期待ください。

創立一〇〇周年を迎え 式典委員会委員長 西村 康利 (高30回)

武義高等学校 創立一〇〇周年おめでとうございます。式典委員を仰せつかり、身に余る光栄と責任の重大さを痛感しております。私は、高第30回の卒業生です。二年先輩までは、バイク通学が許されていましたが、「三不運動」で禁止になり、自宅から自転車まで四キロ、雨や雪の日は傘をさしかつぱを着て通学していただきました。現在のように親が車で送迎してくれるような時代ではありませんでした。部活は、軟式テニス部に所属し、朝練に参

加、昼休みにはコートにローラーをかけ、放課後は暗くなるまで練習の日々でした。弁当を昼売店のパンと、自動販売機でテトラパックの珈琲牛乳を買っていた事を思い出します。日々、世の中の流れも気にせず、学業と部活に没頭した良い三年間でした。卒業生の皆様には是非とも式典にご出席して頂き、一〇〇周年のお祝いと今後の武義高等学校に熱きエールを送って頂きたいと思っております。

財務委員会 工藤 智 (高27回)

岐阜県立武義中学校が一九二〇年(大正九年)二月十二日に設立認可されてから、二〇二〇年で一〇〇周年を迎えることになりました。二二、〇〇〇名以上の方が卒業されており、各方面で活躍されております。一〇〇周年を機会に時代に即応した学習環境の整備、充実のために校門および校門周辺の改修、梅華塾の空調設備、校内整備、備品の購入等の記念事業を実施することになりました。記念事業を行うために四〇〇〇万円程の資金が必要となります。記念事業を成功させるためには、卒業生のみなさまのご協力が必要不可欠です。是非とも一〇〇周年記念事業のために、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

《部活動等表彰者》

- 〔7月表彰伝達者〕
 - ★水泳部 山内 大樹 岐阜県高等学校総合体育大会 第8位
 - ★剣道部 長屋 花音 関市民剣道大会 第3位
 - ★弓道部 猿渡 マイリ 中濃地区総合体育大会 女子個人 優勝
 - ★女子テニス部 藤村 香文 全日本ジュニアテニス選手権 県予選ダブルス 第3位
 - ★商業部(グループ) 長村 麻由 岐阜県高等学校グループ競技大会 第10位
 - ★情報処理部 加藤 耀介 岐阜県高等学校グループ競技大会 正確賞
 - ★書道部 後藤 実来 土屋 佑奈 河村 聖奈 岐阜県青少年美術展 青年部書道部門 入選
- 〔9月表彰伝達者〕
 - ★陸上競技部 朝田 康聖 岐阜県秋季陸上競技大会 男子やり投げ 第2位
 - 岐阜県高等学校新人陸上競技選手権大会 第2位
 - 中濃地区高等学校総合体育大会 男子走り高跳び 第3位
 - ★水泳部 山内 大樹 中濃地区高等学校総合体育大会 男子50メートル泳ぎ 第1位
 - ★商業部(グループ) 中濃地区高等学校総合体育大会 女子100メートル形 第3位
 - ★商業部(グループ) 中濃地区高等学校総合体育大会 女子50メートル形 第1位
 - ★商業部(グループ) 岐阜県高等学校商業実務競技大会 団体4位
 - ★商業部(グループ) 岐阜県高等学校商業実務競技大会 個人8位
 - ★商業部(グループ) 岐阜県高等学校商業実務競技大会 正賞
 - ★商業部(グループ) 岐阜県高等学校商業実務競技大会 正賞
 - ★商業部(グループ) 岐阜県高等学校商業実務競技大会 正賞
 - ★書道部 井上 瑠奈 岐阜県高等学校総合文化祭 書道展 奨励賞
- 〔12月表彰伝達者〕
 - ★美術部 天池 晴香 中濃地区高校美術展 絵画の部 優秀賞
 - ★写真部 福手 真倫 長尾 莉奈 水口 雄太 河瀬 陽依 藤井 華音 岐阜県高等学校写真コンテスト 奨励賞
 - ★吹奏楽部 岐阜県吹奏楽コンクールA編成の部 銀賞
 - ★陸上競技部 朝田 康聖 東濃地区高等学校新人陸上競技選手権大会やり投げ 8位入賞
 - ★水泳部 山内 大樹 岐阜県短水路水泳競技記録会 3位
 - ★弓道部 全国高校弓道選手権大会岐阜県予選 団体女子 第8位
 - ★科学部 植前 結衣 足立 幸穂 岐阜県児童科学作品展 入選
 - ★吹奏楽部 横井美樹也 小栗 咲人 山本輝良人 渡辺 奨悟 岐阜県児童科学作品展 入選
 - ★吹奏楽部 服部 瑚子 花室 菜摘 東 かえで 岐阜県アンサンブルコンテスト 美濃・可茂地区大会 金賞
 - ★商業科 田中 汐佳 税に関する高校生作文募集 名古屋国税局長賞
 - ★国語科 近藤希々羽 横田はるな 小原 志織 河合 大嘉 河合 百萌 河合 祐希 ぎふ・関全国子ども俳句コンクール2019 奨励賞
 - ★美濃地区高特生徒指導部会 古田 めぐみ 交通安全キャッチコピー 優秀賞

編集後記

ご多忙の中、快く寄稿していただいた皆様、心より感謝申し上げます。また編集上の都合で一部文章を割愛したことをお詫び申し上げます。現在、一〇〇周年記念事業の募金活動を行っています。多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。なお、武義高校の学校生活の様子を本校のホームページに掲載してありますので、ご覧ください。(事務局 服部)